

各位



2017 年 5 月 19 日
株式会社 masterpeace
<http://g10book.jp/>

**大前研一氏経営セミナー本、マッキンゼー経営戦略本他、
電子書籍を 500 円ぽっきりで販売
「honto5 周年記念ワンコインフェア」5/18~5/31 開催**

完全オンデマンド流通による電子書籍・印刷書籍の同時出版サービスを手掛ける株式会社 masterpeace（本社:東京都港区、代表取締役社長：磯部純一）が発行する 26 タイトルについて、5 月 18 日から 5 月 31 日の 14 日間、電子書籍ストア honto で開催される書籍キャンペーン「honto 5 周年記念ワンコインフェア」に取り上げられることとなりました。対象のすべての書籍を税込 500 円で販売いたします。

- 「honto 5 周年記念ワンコインフェア」販売ページ
https://honto.jp/cp/ebook/2017/one-coine?cid=ip_eb_albn_ctr_03

<エントリー書籍>

『大前研一ビジネスジャーナル』シリーズ Vol.1~12

『企業参謀』（2014 年新装版）

『マッキンゼー ボードレス時代の経営戦略』（2015 年新装版）

『世界で通用する正しい仕事の作法 4 つのカラーで人を知る、組織を活かす、世界と通じあう』

ほか 全 26 点（参考資料を参照）

<honto 5 周年記念ワンコインフェア>

電子書籍ストア honto が 5 月 17 日に 5 周年を迎えるのにあたり、行うキャンペーンの一つ。

-
- 本件に関するお問い合わせ先

株式会社 masterpeace

〒107-0062 東京都港区南青山 4-15-5

TEL 03-5770-5869 電子メール: contact@masterpeace.co.jp 担当:窪田

<参考資料>

●キャンペーン販売タイトル（masterpeace 発行タイトル：全 26 点）

『悪魔のサイクル』（2013 年新装版）（著：大前 研一）

『StrategicMind』（2014 年新装版）（著：大前 研一）

『マッキンゼー 現代の経営戦略』（2014 年新装版）（著：大前 研一）

『マッキンゼー 成熟期の成長戦略』（2014 年新装版）（著：大前 研一）

『マッキンゼー 成熟期の差別化戦略』（2014 年新装版）（著：大前 研一）

『マッキンゼー 変革期の体質転換戦略』（2014 年新装版）（著：大前 研一）

『マッキンゼー ボーダレス時代の経営戦略』（2015 年新装版）（著：大前 研一）

『加算混合の発想 硬直思考からどう脱するか』（2015 年新装版）（著：大前 研一）

『変わる会社の条件 変わらない会社の弱点』（著：森戸 裕一/JASISA）

『世界で通用する正しい仕事の作法 4 つのカラーで人を知る、組織を活かす、世界と通じあう』（著：伊藤 武彦）

<シリーズ出版>

『大前研一ビジネスジャーナル』シリーズ（監修：大前 研一）

No.1 「強いグローバル戦略／脆いグローバル戦略」

No.2 「ユーザーは何を求めるか」

No.3 「なぜ日本から世界的イノベーションが生まれなくなったのか」

No.4 「迫り来る危機をいかに乗り越えるか」

No.5 「2040 年の崩壊 人口減少の衝撃／地域活性化の現状と課題」

No.6 「『教える』から『考える』へ～世界の教育トレンド／日本人の海外シフトの現状と課題～」

No.7 「バルト三国・ベラルーシの研究～今、日本が学ぶべき“小国家戦略”～」

No.8 「アイドルエコノミー～空いているものに隠れたビジネスチャンス～」

No.9 「世界のリゾート&ツーリズム徹底研究～インバウンド時代の観光産業を生み出す仕掛け～」

No.10 「M&A の成功条件／位置情報 3.0 時代のビジネスモデル」

No.11 「日本の地方は世界を見よ！イタリア&世界に学ぶ地方創生」

No.12 「21 世紀の人材戦略」

『BBT リアルタイム・オンライン・ケーススタディ』シリーズ（監修：大前 研一）シリーズ総集編：

もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか？ Vol.1

もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか？ Vol.2

もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか？ Vol.3

もしも、あなたが「最高責任者」ならばどうするか？ Vol.4

●株式会社 masterpeace

<http://g10book.jp/>

〔事業概要〕 オンデマンド出版ソリューション：good.book（グーテンブック）の運営およびサービス提供。デジタルメディアの企画、制作、販売を事業ドメインとし、デジタルマーケティングを活用したクロスメディア事業を展開しています。